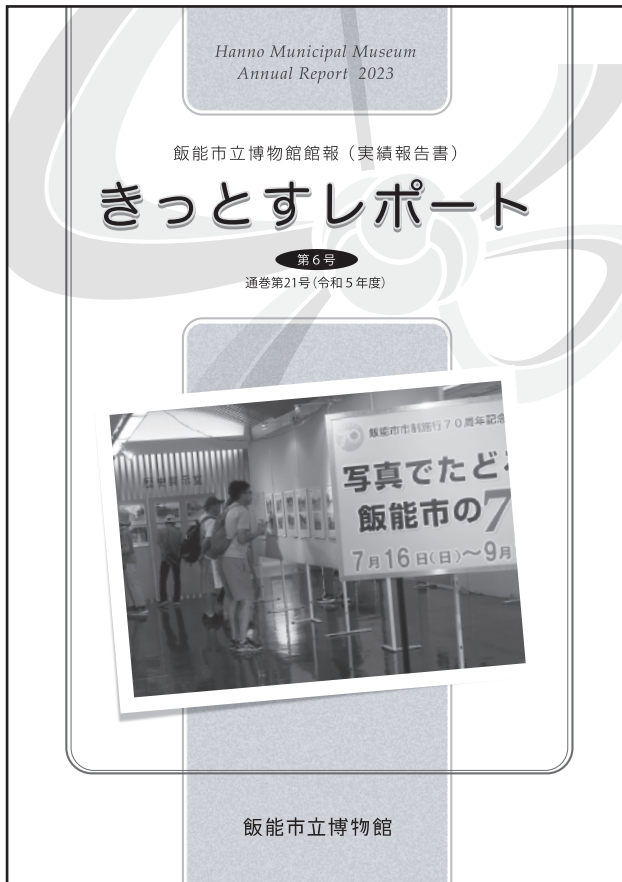


『きっとすレポート』第6号



令和7年3月発行、76ページ
700円(税込み)

当館の館報は、**博物館活動の総体**を多くのみなさんに知っていただくために発行しています。

通巻で21冊目となる本号は、**令和5(2023)**年度の実績報告書です。

今回のような**冊子での館報の発行は、基本的に本号が最後**になります。令和7年度発行の第7号は、デジタルデータで作成し、当館Webサイト上での公開となる予定です。

表紙の写真は、その年の象徴的な事業を選んでいますが、今回は、市制施行70周年記念展「写真でたどる飯能市の70年」の会場風景といたしました。

本号の特徴

- 館報は**博物館評価**の報告書としての役割をもっています。(14～17p) ➡
- 第18号以来3年ぶりに資料利用一覧を掲載し、**収蔵資料の利用実態**を示しました。(46～47p) ↓

◆令和5(2023)年度資料利用一覧

№	利用資料	点数	利用者	目的	利用期間
1	岡田と子家文書「秩父本興業組合事件演義要旨」など	74	個人	研究	4/1～3/31
2	飯能町周辺図	1	青梅市立第七小学校	創立120周年記念発行	4/3
3	写真「(奥武蔵駅伝(銀座通り))」など	5	ふるさと納税課	ふるさと納税で得る音画の枕書製作	5/10
4	武蔵野鉄道開通当時の周辺の鉄道	1	飯能市立博物館	展示連携の手引きに図表を引用	5/10
5	飯田省一郎家文書「日記(天保14年)」など	4	個人	研究	5/10
6	南村岡家「日記」(コピー)	1	古文書同好会	古文書教材の作成	5/13
7	早瀬龍江絵画「詩人K氏像」など	15	埼玉県立近代美術館	企画展「イン・ビッドのオーソドックス」開催	5/18
8	写真「有明ダム建設風景(昭和39年)」	1	広報情報課	広報はんこのう(7/1号)の発行	5/23
9	写真「飯能町原」など	5	飯能西中学校PTA広報委員会	PTA広報誌作成	5/24
10	南村岡家「日記」	1	古文書同好会	古文書教材不詳事項の原典調査	6/10
11	図書「飯石町分館千五百年の歩み」など	5	飯能市議会事務局	記念冊子を参考	6/16
12	飯田省一郎家「安政二年日記」	3	個人	江戸末期の飯能町史の調査	6/18
13	写真「(京南にて記念)」など	2	飯能市議会事務局	飯能ライオンズクラブ市議会議員報告	6/23
14	図書「埼玉県産地宝典(飯能・明間地区)」など	4	個人	実家の調査	6/25
15	図書「明治三十二年～三十九年 迅速開闢二万分之一(埼玉県)」	1	NHK学園	見学と資料	7/5
16	早瀬龍江絵画「華風の遊戯」など	2	埼玉県立近代美術館	企画展「イン・ビッドのオーソドックス」開催	7/6
17	図書「武蔵大石氏」	1	生涯学習課	調査	7/14～7/25
18	図書「埼玉県立歴史博物館調査報告書Ⅰ 日録編」など	4	生涯学習課	飯能市文化財保存活用地域計画に因る調査	7/20～7/26
19	図書「埼玉県史料第25巻 飯能開拓史料6」	1	個人	原稿執筆	7/20～9/13
20	小川近実文書「武蔵野鉄道開通前記」など	7	清瀬市郷土博物館	特別展「清瀬開港100年の物語」開催	7/26
21	図書「WITH 50 YEARS EXPERIENCE INNOVATE THE FUTURE」	1	個人	調査	7/26
22	特別展図録「山上の聖地」掲載写真	21	生涯学習課	飯能市文化財保存活用地域計画に因る調査	7/26
23	相子(国民服)など	13	美杉台地区行政センター	平和のための戦争ギョウザ作り	7/26～8/1

◆令和5(2023)年度博物館評価の結果

★ = 教育行政の重点施策

項目	1	2
事業名	★特別展「原市場村秘史・受け継がれる記憶と記憶」の発表	市民学芸員活動の実践
ミッション	I「飯能のあらたな魅力に出会える博物館」	II「学び」の入口となる博物館
分野	展示	教育活動
目標達成の手段と到達点	原市場地区の歴史、文化を掘り起こすことで、まだ知られていない地域資源を明らかにして人々の知的好奇心に応えるとともに、地域住民にとっては誇りと誇り、地域内外の人々には訪れてみたいと思うような魅力を発信する。	市民学芸員はそれぞれの活動分野で学んだことを当館の事業で活かす。学校や地域のみなさん、あるいは市民学芸員同士との交流をはかることで、歴史・文化遺産の保存・活用を担う人材の育成に貢献してもらう。
達成指標と目標値	①展示を見て「原市場地区に関する新たな知見を得、その魅力を発見した」人の割合が80%以上であること。 ②関連講座での申込みについて、電子申請を活用できるように整備する。	①博学連携型は、飯能第二小学校の放課後子ども教室のプログラムを作成し、実施する。 ②古文書整理型は、収蔵資料目録10に掲載する史料の整理を行う。 ③変作文化型は、地域にその成果を還元する。
事業概要	18～23p(展示)	35～39p(交流)
結果及び成果	・当展では、見る、聞く、触るなどの展示型作品を用意したことも内容の理解促進につながったと思われ、展示の内容を評価する声が多く聞かれた。また達成指標も目標値を大幅に上回り、その点では成功だったといえる。その一方で展示図録の発行が会期終了直前にずれ込み、利用サービス点で問題が大きかった。展示の内容についても、「原市場」という地名の由来についての言及や中世の紹介が少なく、原市場地区のことをよく知らない方々にとってはわかりにくい展示になっていたのではないか、といった指摘や、展示内容の配置について、動線となるスペースが十分に確保できていなかったのではないかと、この点で課題が指摘された。	・博学連携型市民学芸員は、今回放課後子ども教室の実施を達成したが、本格的には小学3年生見守り隊が活動のメインなので、それを取り上げてより良かったのではないかと、 ・いずれの分野も活動期間が長く、変作文化型のように活動をふりかえりまとめる作業に取り組んでいるところもあるが、一方でなかなか主体的な活動へとながっていないなどの課題もでてきている。
博物館協議会の意見	①アンケートで展示の感想を聞いたところ、「よい展示だった」が93.6%、また「原市場の歴史・文化の一端を知ることができた」という返答では、「できた」が98.9%であった。以上の結果から達成目標の目標値を上回ったと評価した。(アンケート回答数276) ②電子申請申込みフォームを整備し、講座会と現地見学の申込みを往復書簡と電子申請で受け付け、電子申請は、講座会が45名中35名、現地見学会が32名中27名が利用した。特に大きな問題はなかった。	①この事業には市民学芸員11名が関わり、当日は14名の児童が参加した。児童たちは楽しんで制作と遊びを体験したようで、教室スタッフからも好評を得た。 ②月2回の活動日に加え、その作業を行う日曜日2日設定して合わせて20回以上行い、20の史料を整理した。 ③小学3年生の石臼体験への大支の提供、希望学園高校の学園祭支援のほか、新たに今までの活動を「変作文化探索型市民学芸員の夢」としてまとめる作業を行い、変作文化の継承に努めた。
課題と方向性	・博物館協議会委員からは新しい意見も出されたが、今後これらの課題をふまえて継続して充実した特別展を実施していくことに努めていきたい。	・放課後子ども教室を博物館が受け持つことは他市町村ではあまり見られない取り組みなので、他の学校でも実践してほしい。 ・古文書整理型によってきた収蔵資料目録10発行に際しては、その成果を展示にしたり、解説を行うなどの事業を検討していただきたい。 ・変作文化型については、揃った変作文化を展示し継続することは時代とともに価値が落ちていくので、外部に委ねて継続させることを考えてほしい。
達成率	80%	100%
評価	C	A

■令和5年度の運営状況

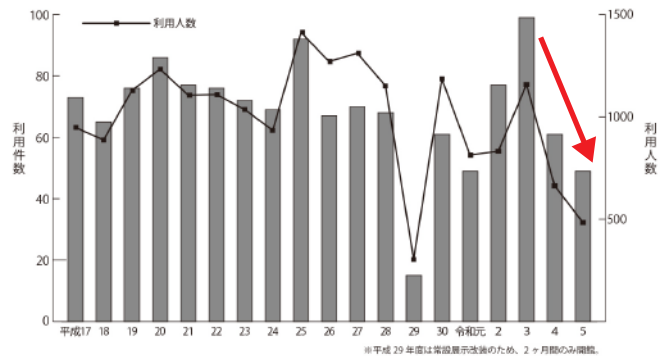
当該年度は、令和元年度以来4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響を全く受けない状況で年度をスタートすることができました。

①当該年度の入館者数は500人ほど増加し、30,000人台を回復しました。
→68p

②学習サークルによる利用件数は著しく減少しています。
→48p

学習サークルによる学習研修室の利用件数の減少はさらにその度合いを強めています。サークル参加者の高齢化はその原因の一つですが、そのほかにインターネットの普及により、誰でもが学習成果を容易に発信することができるようになったこと、動画などによって学習機会が増大していることも大きな要因と考えられます。こうした課題に対して社会教育機関としてどのように対応したらよいのか、未だ方向性を見出せないでいます。

平成17～令和5年の学習サークルによる学習研修室利用件数・人数推移



③収蔵資料の整理点数は、収蔵資料目録10の刊行にともない大幅に増加しました。
→53p

当館では隔年で収蔵資料目録を刊行しているため、年により資料整理の点数に波があります。大切なのは毎年少しずつでも資料整理を進め、資料へのアクセシビリティを広げ、収蔵資料の価値を高めることにあります。毎年博物館評価の対象事業しているのはそのためです。

令和5(2023)年度文書整理実績

史料群名	整理点数	新・再	受入年度
枝久保寛家(双柳)	6	新	令和4(2022)
小島和彦氏蒐集	2	新	令和3(2021)
大野貞家(上井上村)	9	再	
双木利夫家(真能寺村)	2983	再	昭和47(1972)
	3000		

令和5(2023)年度写真資料整理実績

寄贈者(所蔵者)名	整理点数	新・再	受入年度
中里和夫(丸中織物)	48	贈	
大野仁巳	1	贈	令和元(2019)
奥むさし飯能観光協会	6	贈	令和4(2022)
小形清彦	2	借	令和5(2023)
名栗小学校	52	贈	平成21(2009)
	109		

④SNSのフォロワー数を埼玉県内・県外の博物館と比較してみました。
→59p

…令和4年9月に466だった当館のXのフォロワー数は、1年後の令和5年9月には675となりました。209件44.8%の増加になります。

- 埼玉県内における市立館と比較すると当館のフォロワー数は遜色ないといえそうですが、県立館の多くと比べると1桁違うことがわかります。
- 一方、県外の市立館を見てみると、5,000を超えている新潟市歴史博物館には驚くばかりです。また個人的に学芸員がXを使って発信している大阪市立自然史博物館は県立館なみのフォロワー数を獲得しており、さすがです。
- ここでは、当館のXにおけるエンゲージメントに関わる数字も掲載しました。エンゲージメント率のトップは10.5%で、トップ10では自然観察会など自然系の行事報告や、「写真でたどる飯能市の70年」展の展示写真募集が高かったことがわかります。

◆埼玉県内・県外博物館のSNSフォロワー数(令和5年9月時点)

	館名	分野	X フォロワー数	Facebook フォロワー数
県内市立	飯能市立博物館	歴史	675	507
	入間市博物館	総合	661	482
	さいたま市の博物館(9館)	歴史	2,052	-
	さいたま市岩槻人形博物館	美術	389	317
	川越市立美術館	美術	790	67
	平均		913	343
県立	埼玉県立歴史と民俗の博物館	歴史	10,948	-
	埼玉県立近代美術館	美術	26,994	3,320
	埼玉県立自然の博物館	自然	11,718	-
	埼玉県立文書館	文書館	1,265	-
	埼玉県立さいたま史跡の博物館	歴史	3,113	-
	平均		10,808	3,320
県外市立・財団	茅ヶ崎市博物館	歴史	44	300
	松戸市立博物館	歴史	1,285	-
	たばこと塩の博物館	歴史	3,866	487
	新潟市歴史博物館	歴史	5,892	365
	長野市立博物館	歴史	1,970	-
	大阪市立自然史博物館	自然	12,953	2,836